

校長 鈴木 宏卓

みなさまのご協力をおもなして、令和6年度の学校評価アンケートの集計と分析が終了いたしました。

「家庭学習の取り組み（設問2）」、「授業や各種コンクールでの基礎的学力の成果（設問3）」のアンケート結果では、生徒の消極的増加しています。昨年度より平日課題の見直しや各種コンクール実施方法の工夫などを行っていますが、家庭学習による達成感を感じられない生徒が一定数存在します。生徒たちが目的意識をもって家庭学習に取り組めるように、引き続き対策を講じてきます。

「規則正しい生活の乱れ（設問16）」について気にかけている生徒が多くいます。長時間のスマホ利用により生活リズムが乱れ、家庭学習にも影響を与えていることが考えられます。メディアコントロールや規則正しい生活習慣が身につくよう、生活点検とメディアチャレンジを実施し、必要に応じて個別指導を行ったり家庭に協力を図ったりしていきます。

今回の学校評価アンケートの結果を真摯にうけとめ、今後も教職員一同、気を引き締めて生徒のために邁進してまいります。これからも五並中学校の教育活動にご理解とご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 1 本校の教育目標

地域と生徒の実態を把握し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を旨とする

### 校訓 「豊かな心の生徒」

#### 目指す生徒像

- <知>深く考え、自ら学ぶ生徒
- <徳>思いやりをもち、助け合う生徒
- <体>気力をもってやり遂げる生徒

#### 合言葉

- 「い」 いつもにここにこ 明るくあいさつ
- 「な」 なんでも挑戦 チャレンジ精神
- 「み」 みんなで力を合わせ きれいな学校

## 2 経営方針 ～すべては子どものために～

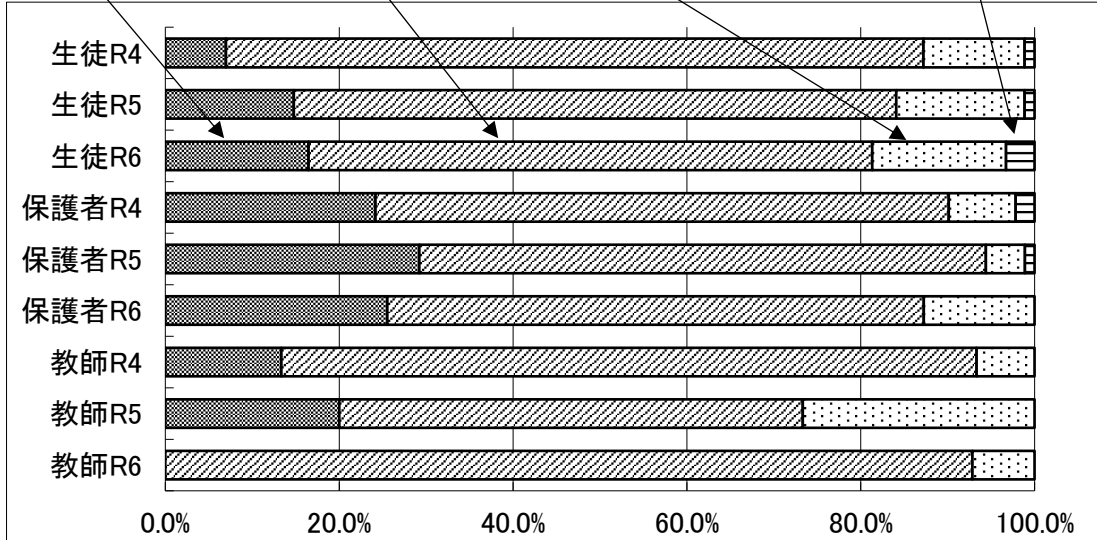
「五並中生であること(あったこと)の揺るぎない自信と誇りを、生涯にわたってもつことができる」生徒の育成

- (1) 「学ぶ楽しさ」を実感させ、自己表現力を基盤にした確かな学力を育成する
- (2) 一人一人が輝き、活気あふれる学校、温かさやぬくもりのある居心地のよい集団づくりに努める
- (3) 地域・保護者が通わせたいと思える信頼される学校づくりに努める
- (4) チームとして組織力を強化し、教育公務員としての高い意識とタイムマネジメント力を高める

令和6年度 豊橋市立五並中学校 学校評価アンケート結果 1

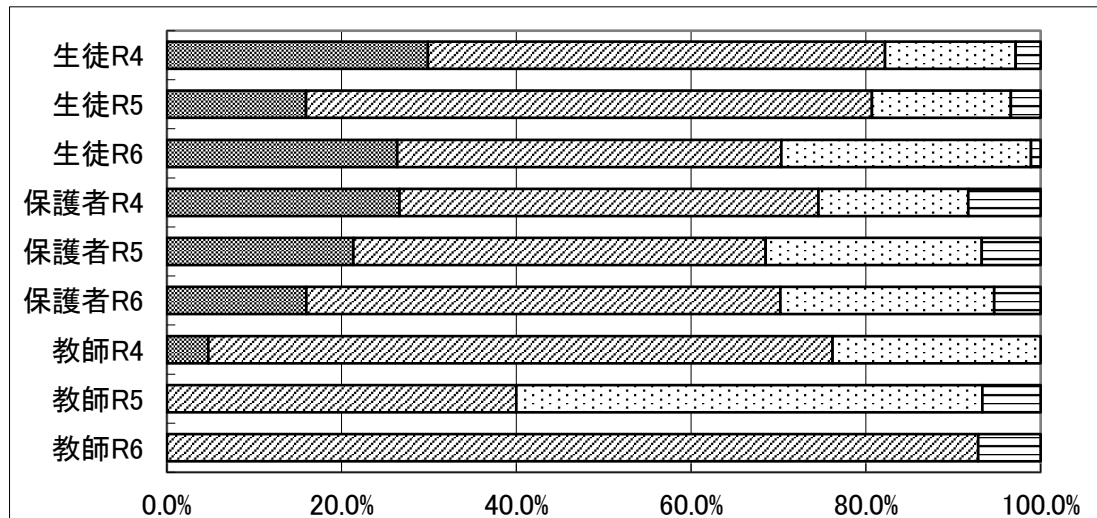
1 とてもそう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかと言えばそう思わない そう思わない

【設問1】



設問1は、子どもたちの学習態度（集中して話を聞く・返事をする・忘れ物をしない・発言のマナー）を質問しました。生徒・保護者・教師の積極的的回答が8割を越え、学校や子どもたちが意識して取り組んだことを成果として実感できていることがうかがえます。保護者の消極的な回答③の増加は、子どもたちへのさらなる期待の表れだと捉えます。学習への取り組みがさらに充実していくよう、子どもたちへの支援・指導を継続していきます。

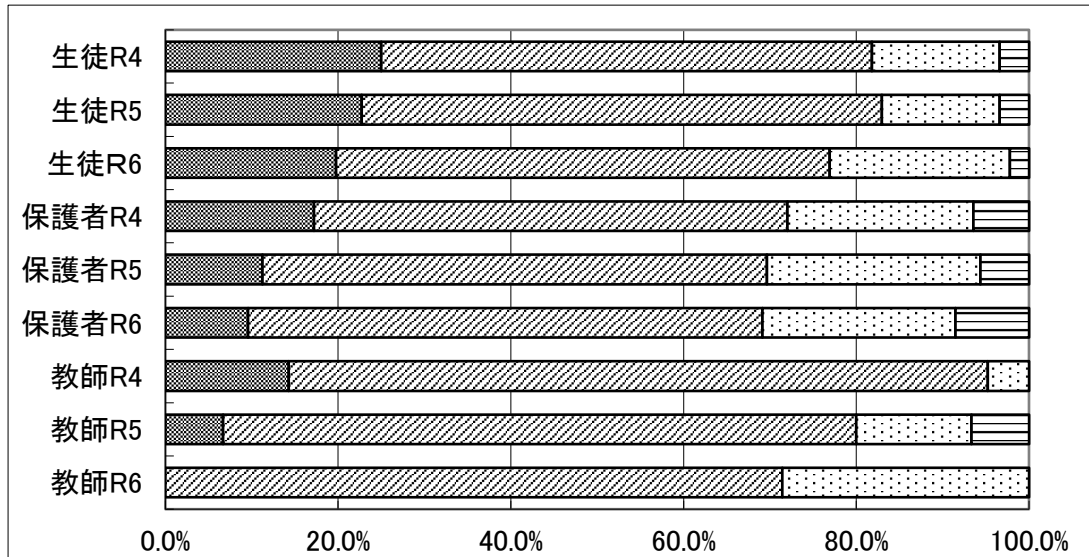
【設問2】



設問2は、子どもたちの家庭学習（一定の学習時間・課題への取り組み・自主勉強）を質問しました。積極的的回答①②の生徒は昨年度と比べると減少しています。家庭での学習方法に困り感を持ち、自信のない子どもが増えていることがアンケート結果から読み取ることができます。その反面、教師は、家庭学習で行う課題等の提出状況などから、昨年度より取り組みのよさを実感している様子が見えます。三者（生徒・保護者・教師）が家庭学習に対する意図や取り組み方を共有したうえで、その成果を互いに実感できるように工夫・改善していくことが大切です。

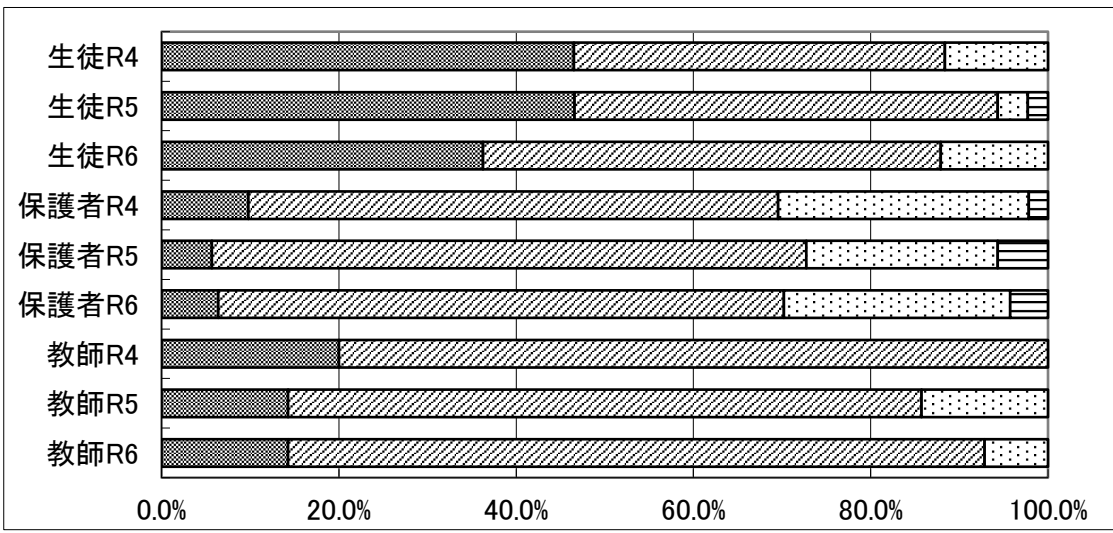
■ 1 とてもそう思う ■ 2 どちらかと言えばそう思う ■ 3 どちらかと言えばそう思わない ■ 4 そう思わない

【設問3】



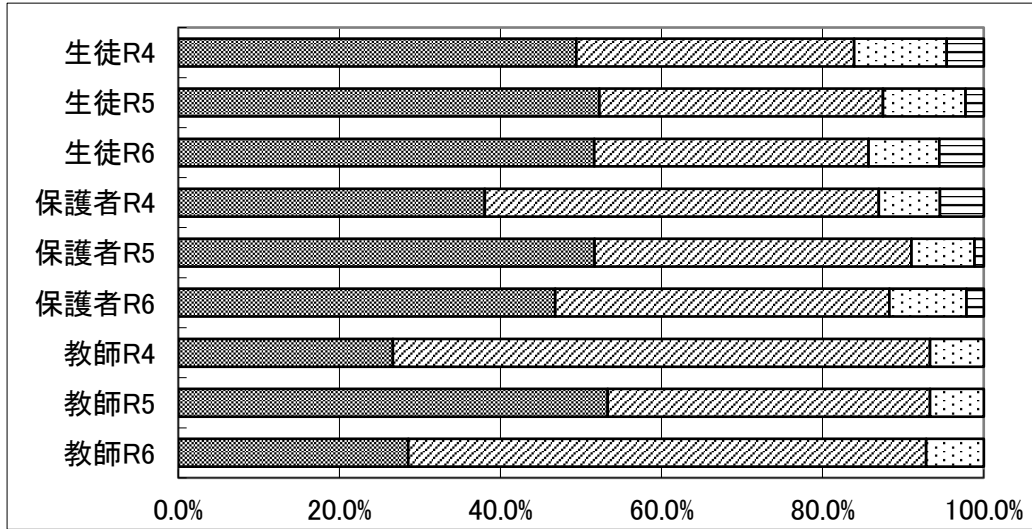
設問3は、授業や各種コンクールでの基礎的学力の成果を質問しました。昨年度からやや減少しているものの、8割近い生徒が自分の取り組みを肯定的に捉え、各種コンクールや授業での小テスト等、前向きに取り組んでいる様子が見えます。しかし、消極的の回答が増えていることから、成果を実感できていない子どもたちの現状も浮かび上がってきます。保護者・教師ともに、①②の積極的の回答が減少していることは、子どもたちへの期待度の高さなのか、基礎的学力の伸びを十分に感じられない状況なのかを見極め、対策を講じていく必要があります。前向きに取り組む子どもたちの姿を今後も継続していけるように支援していきます。

【設問4】



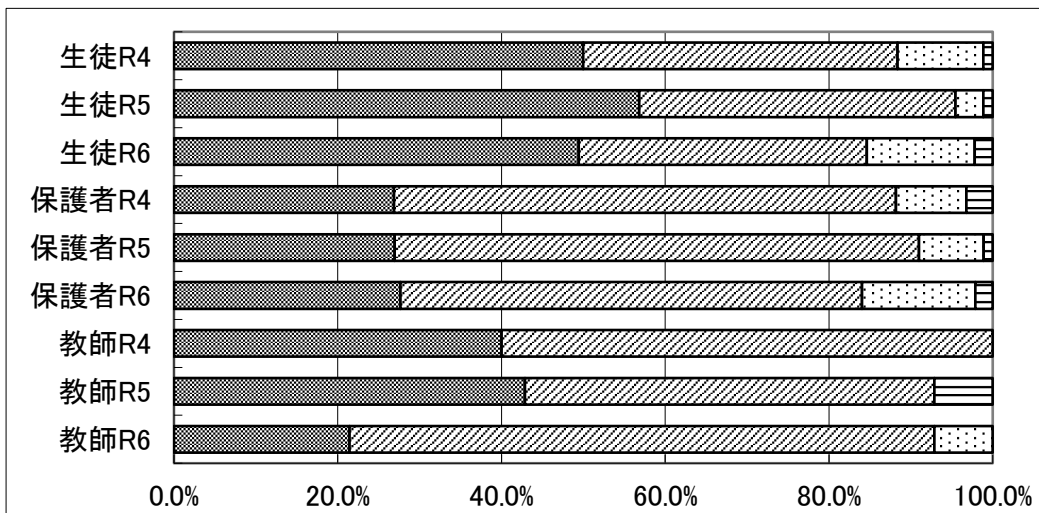
設問4は、確かな学力を身につけさせるための授業の工夫を質問しました。これからの子どもたちには、学習の基礎となる「知識や技能」の習得はもちろんですが、「学ぶ意欲」「思考力・判断力・表現力」などを含めた幅広い学力を育てることが必要です。子どもたちは授業が工夫され、学習の基礎となる知識や技能の習得に役立っていることを実感しています。学校は「確かな学力」(生きる力)の向上を目ざし、「わかる授業」の工夫を基盤に、話し合いや問題解決学習への取り組みを継続することでさらなる充実を図ります。

■ 1 とてもそう思う ■ 2 どちらかと言えばそう思う ■ 3 どちらかと言えばそう思わない ■ 4 そう思わない  
【設問5】



設問5は、子どもたちの学校生活での、仲間の有無、自己の成長の実感、落ち着きのある授業の様子を質問しました。8割以上の生徒・保護者・教師が、積極的①②を答えていることから、子どもたちは学校生活に概ね満足していることがうかがえます。仲間との関わりを大切にしたい取り組みを継続するとともに、消極的③④の回答ととなる要因を見極め、今後も一人一人に寄り添った支援を大切にしていきます。

【設問6】

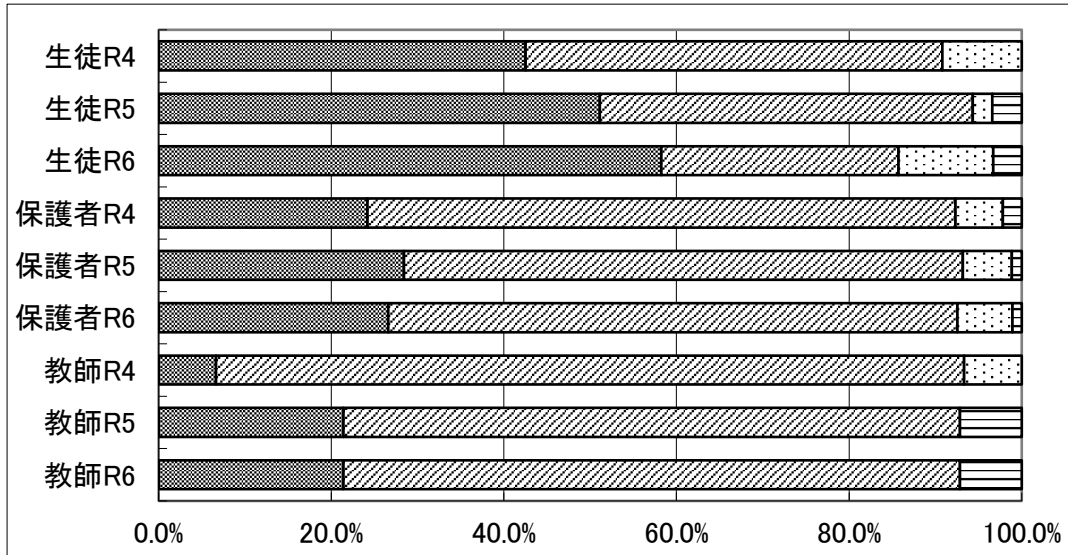


設問6では、子どもの悩みやいじめ等の問題への教職員の対応を質問しました。8割以上の生徒・保護者・教師が、積極的①②と回答しており、高く評価されていると捉えることができます。しかし、③④の消極的③④の回答をしている生徒・保護者の困り感がアンケート結果から見受けられます。その要因を見極めるとともにどの子にとっても安心・安全な学校を目指し、一人一人に寄り添った支援指導を進めます。問題を解決するための適切な対処の仕方や子どもたちの自浄力育成に今後も力を注いでいきます。

令和6年度 豊橋市立五並中学校 学校評価アンケート結果 4

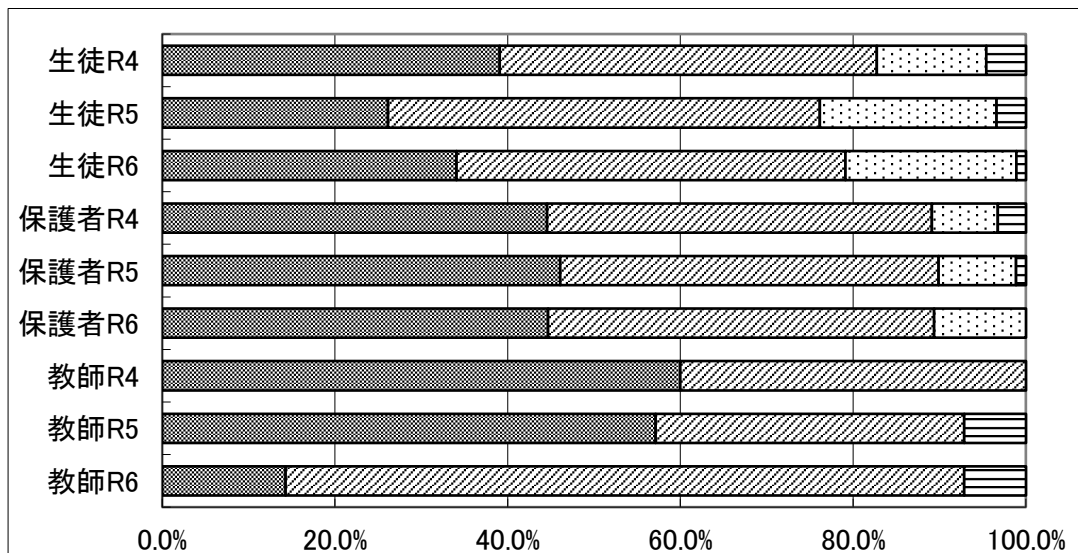
1 とてもそう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかと言えばそう思わない 4 そう思わない

【設問7】



設問7では、『いのち』の尊さを教えているか、大切さを学んでいるかを質問しました。いのちや人権などをテーマにした道徳の授業、豊橋・学校いのちの日での講演会、全校集会や学級活動、授業等での命や安全を考える講話など、子どもたちは常に真剣に受けとめています。自分ごととして捉えたその思いを実生活で行動に移していけるよう支援していきます。

【設問8】

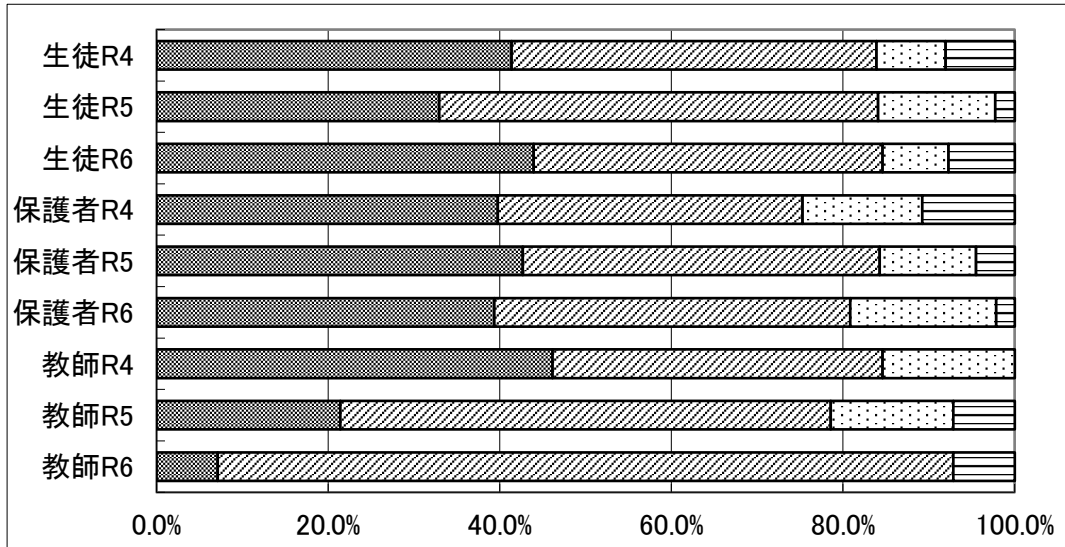


設問8では、合言葉「い・な・み」の『なんでも挑戦、チャレンジ精神』の名のもとに、全ての教育活動における積極的な姿を質問しました。昨年度の結果をもとに、今年度はチャレンジすることの意義や輝く場面は表舞台ばかりではないことなど、一人一人に寄り添って投げかけ、その取り組みを応援してきました。子どもたちの意識に変化が生じている様子が見えます。今後も一人一人が輝く場を設定することで、より多くの子どもたちが自信をもって挑戦していけるようにしていきます。

令和6年度 豊橋市立五並中学校 学校評価アンケート結果 5

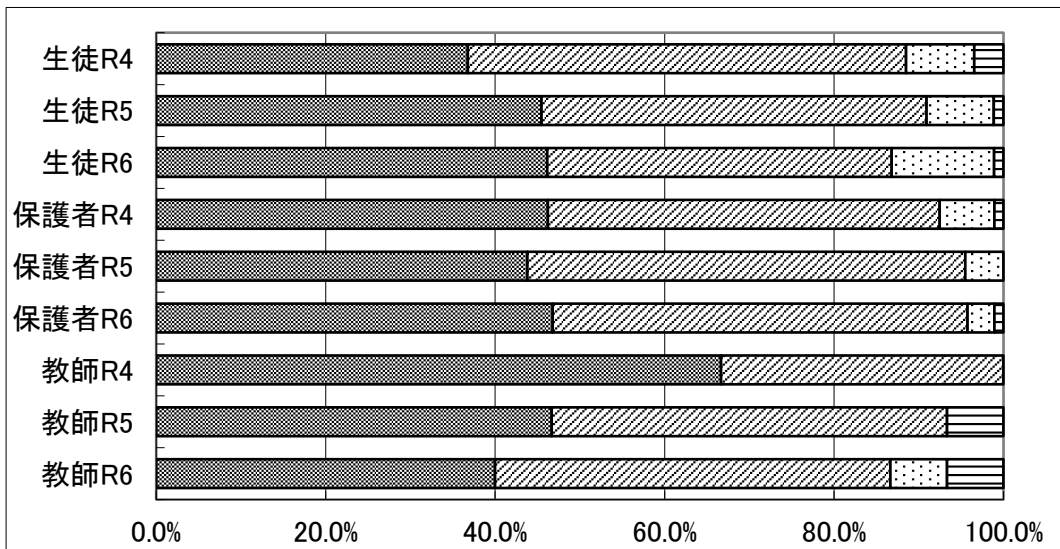
■ 1 とてもそう思う    ▨ 2 どちらかと言えばそう思う    ▩ 3 どちらかと言えばそう思わない    ▪ 4 そう思わない

【設問9】



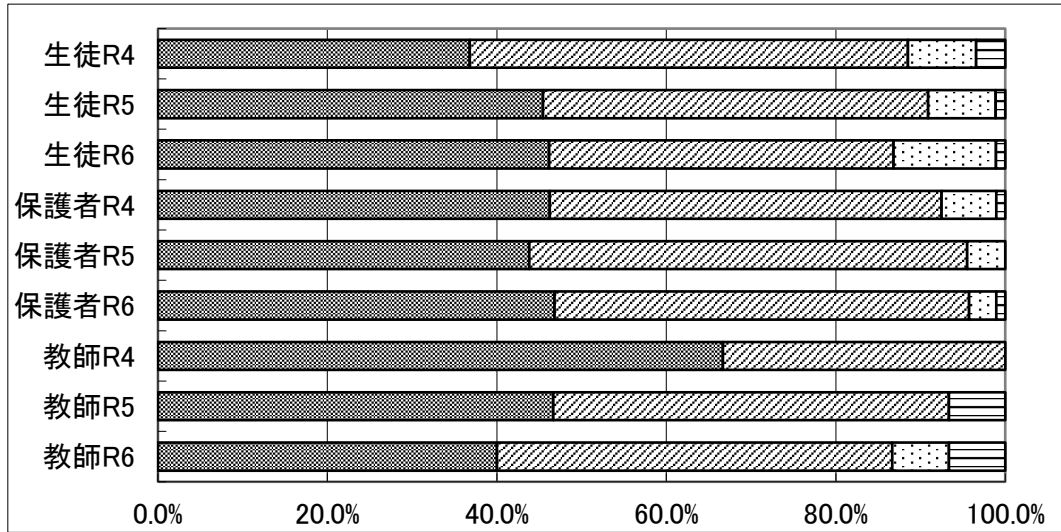
設問9では、体育科での授業や部活動、家庭での自主的なトレーニングを通して、健康で健全な身体づくりに励んでいるかを質問しました。運動面だけではなく学習面や作業など、さまざまなことに取り組み、やり抜くために必要なのは体力です。生徒・保護者・教師ともに8割以上が積極的の回答を示し、学校だけではなく家庭でも意識して身体づくりに取り組んでいる様子が見えます。

【設問10】



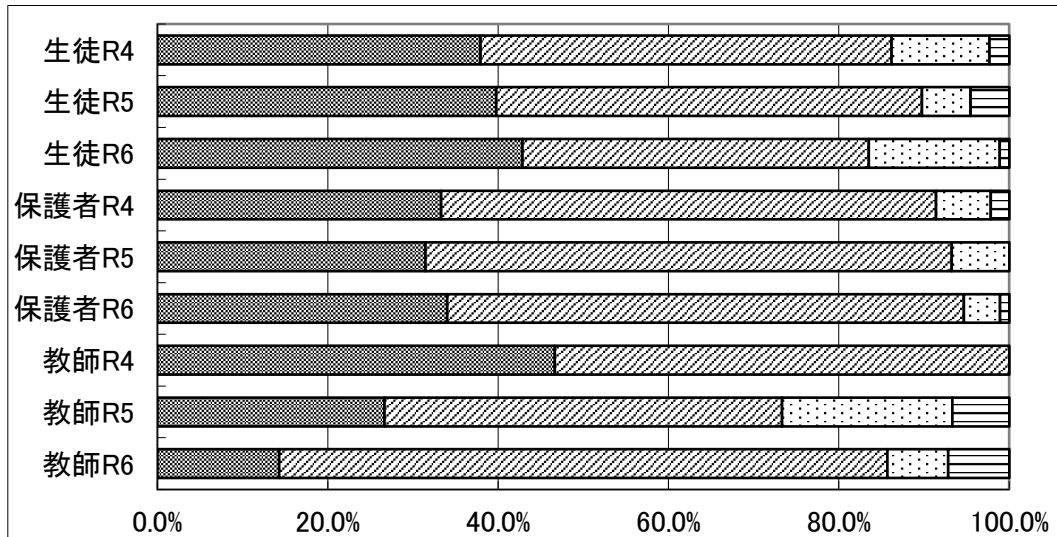
設問10では、各種通信により、子どもたちの様子や学校行事等の情報を適切に伝えているか質問しました。生徒・保護者ともに積極的の回答が9割近くになっています。子どもたちの様子や学校行事等の情報が通信やホームページ等で伝わっていることがわかります。昨年に引き続き、学校では、ペーパーレス化に向けてデータでの配信を積極的に取り入れています。

■ 1 とてもそう思う   ■ 2 どちらかと言えばそう思う   ■ 3 どちらかと言えばそう思わない   ■ 4 そう思わない  
 【設問11】



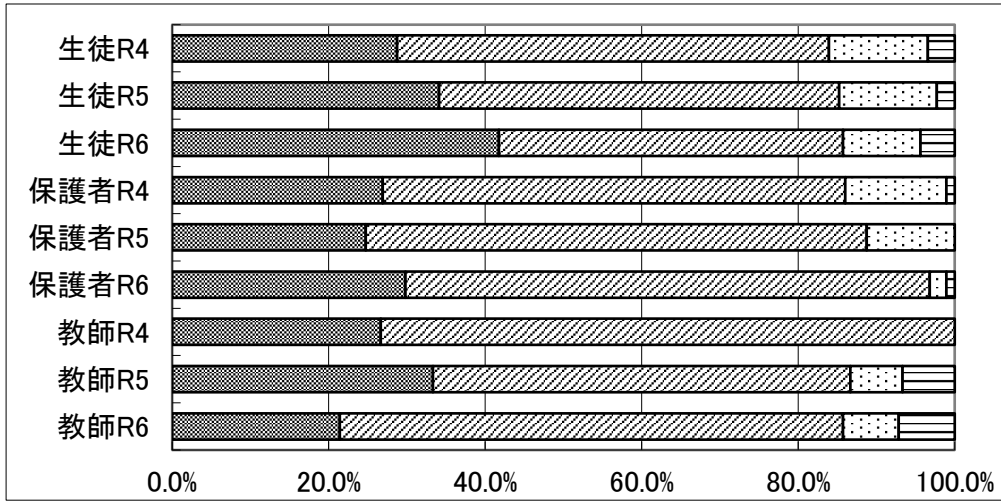
設問11では、学校・保護者・地域との連携や協力について質問しました。子どもたちの育成には、『子どもたちは地域・家庭・学校の宝』という共通理解のもと、三位一体となった支援が必要です。結果からも、子どもたちは、地域や保護者の皆様が見守ってくれていることを実感していることがわかります。これからも、子どもたちの成長を支え、見守っていただけるように、三者相互の理解を深めるとともに連携をとっていきたいと思います。

【設問12】



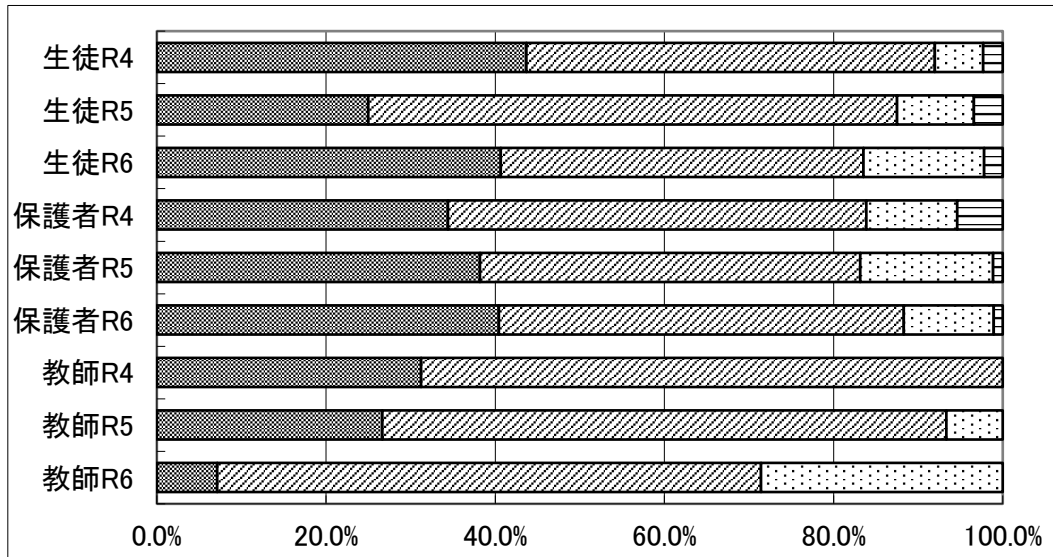
設問12では、地域の教育環境や教育力について質問しました。勤労体験学習や総合的な学習の時間で、保護者・地域の皆様の協力を得て学びを深めたり追究したりすることができました。さらに、体育祭や文化祭、表浜フェスティバルなど、保護者・地域の皆様など多くのかたに参加していただくことができました。地域とともに、地域に学び、地域を生かす学習活動を展開することができました。今後も地域の皆様と協力して教育活動を進めていきたいと思います。

■ 1 とてもそう思う ■ 2 どちらかと言えばそう思う ■ 3 どちらかと言えばそう思わない ■ 4 そう思わない  
 【設問13】



設問13では、細谷小、小沢小、五並中の3校の連携を質問しました。今年度は小沢小・細谷小の6年児童が五並中体育祭に参加しました。細谷小で行った音楽交流会では、中学生が主体となって会を運営し、ゲームや合唱を通して交流を深めました。交流会後は、ありがとうメッセージを送り合うなど互いの思いを伝え合うこともできました。「お兄さんお姉さんは優しいな」「あんな中学生になりたいな」などの小学生の感想からも、交流の場が小学校から中学校へのスムーズな引継ぎの場や機会となっていることがわかります。今後も3校の教育活動が円滑に行われるように努めていきます。

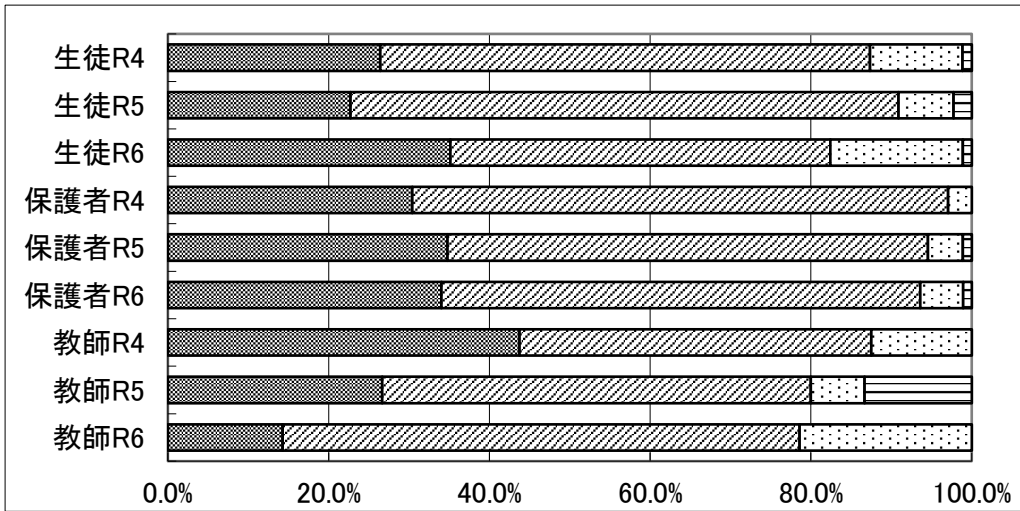
【設問14】



設問14は、合言葉「い・な・み」の「いつもにこにこ・明るい挨拶」の徹底を質問しました。本校では、日常を磨くことを目的とする『173カップ』を実践して、挨拶をその一つに特化して推進しています。「挨拶を大切にしたい」という意識の高い子どもたちは多いです。授業の最初と最後の挨拶だけにとどまらず、よりよいコミュニケーションをとる手段となるよう、形だけではなく質の高い挨拶を目指しています。

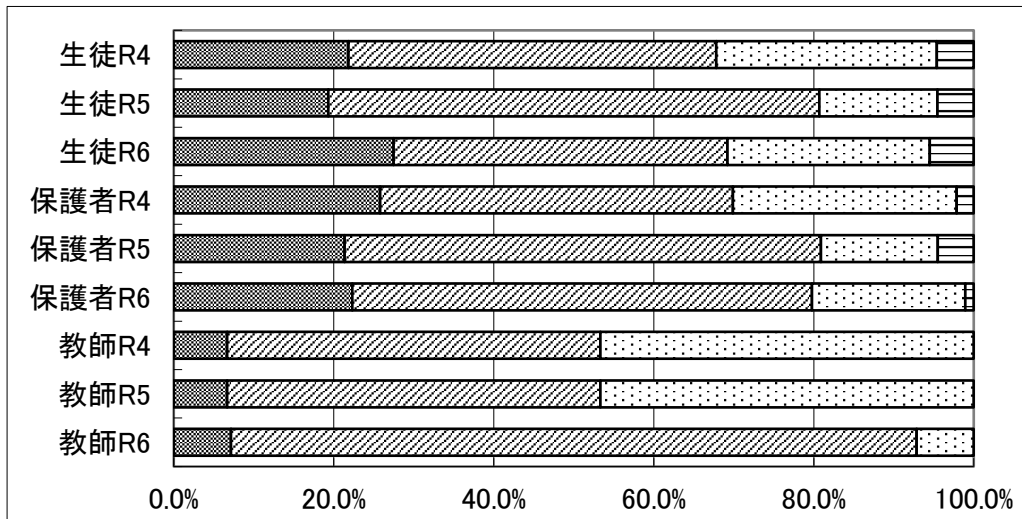


■ 1 とてもそう思う   ■ 2 どちらかと言えばそう思う   ■ 3 どちらかと言えばそう思わない   ■ 4 そう思わない  
 【設問15】



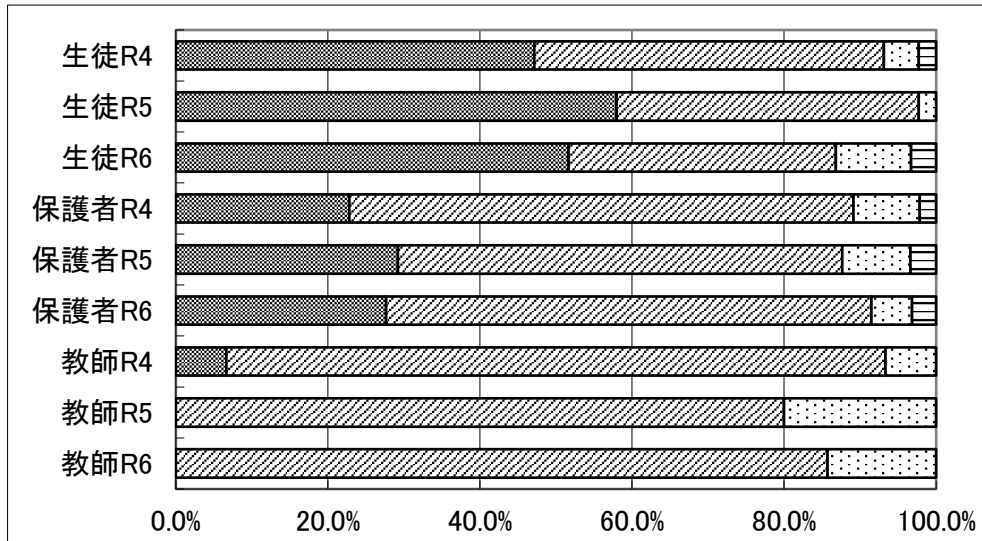
設問15では、合言葉「い・な・み」「みんなで力を合わせ、きれいな学校」の徹底さを質問しました。生徒・保護者・教師の多くが意識して学校の美化に努めていることが結果からわかります。  
 学校では、今後も学校環境の美化とともに、自分の心も磨いていけるような清掃活動を大切にしていきます。

【設問16】



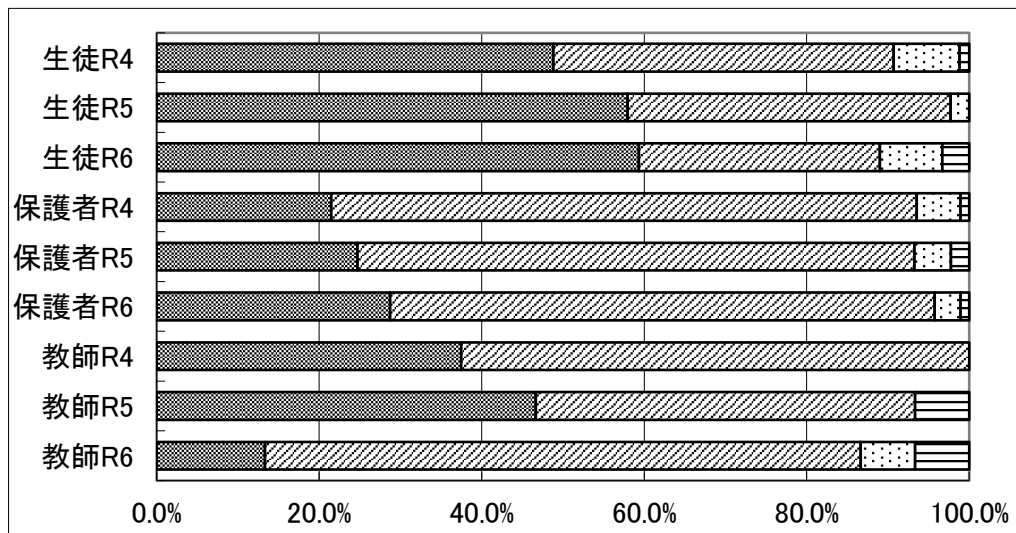
設問16では、規則正しい生活と健康で活気のある生活を質問しました。保護者は約8割、教師は8割を越す積極的な回答をしていますが、生徒の消極的的回答は増えています。保護者・教師に見えない部分での生活リズムの崩れが学校生活の活気の有無に関係していることが危惧されます。登校したものの体調がすぐれず、早退する生徒もいます。その要因を明らかにし、誰もが健康で活気のある生活を送ることができるよう、ご家庭とも連携して努めていきます。

■ 1 とてもそう思う ■ 2 どちらかと言えばそう思う ■ 3 どちらかと言えばそう思わない ■ 4 そう思わない  
 【設問17】



設問17では、登下校中の交通安全、危険箇所の啓発や事故防止への取り組みを質問しました。生徒の半数は積極的①を答えており、意識している様子がうかがえます。しかし、自転車による事故や、並走走行などの危険な乗りかたをしている現状があります。学校では、生徒の安全を第一に考え、危険な状況を把握した時点での即時対応や、「自分の命は自分で守る」ことを生徒とともに考える時間を設定していきます。今後も事故防止に務め、自ら行動に移していく生徒の育成に努めます。

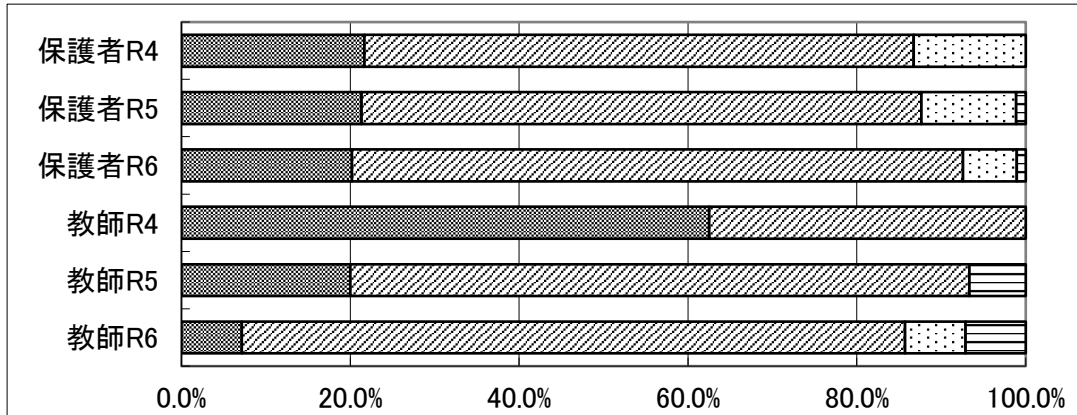
【設問18】



設問18では、災害に対する安全教育と学校施設の安全管理を質問しました。生徒は、避難訓練など、学校で実施する防災教育に真剣に取り組んでいることがわかります。自然災害はいつでも起きるか予測不可能なことが多いです。未然に危険状況を回避できるように安全管理を徹底していくとともに、いざというときに対応できる危機管理能力を身につけていけるよう、今後も取り組んでいきます。

■ 1 とてもそう思う    ▨ 2 どちらかと言えばそう思う    □ 3 どちらかと言えばそう思わない    ▤ 4 そう思わない

【設問19】



設問19は、保護者と教職員のみを対象に、学校評価による教育活動の改善を質問しました。保護者の皆様の回答より、アンケート結果をもとに教育活動を改善するための学校の取り組みをご理解いただいている様子が見えます。しかし、消極的な評価となる部分があることはおろそかにはできません。積極的・消極的の回答となるそれぞれの要因を明らかにするとともに、今年度の教育活動を振り返り、学校評価をもとに次年度に向けての改善を検討していきます。

【いただいたご意見より】

- 可能であれば、学校の行事と部活動の大会の日程がかぶらないようにしてほしいです。
- ◆学校の教育活動は前年度のうちに年間の予定を組んでいきます。この段階で確定している大会については考慮することも可能ですが、日程が決まっている大会は少ないです。どちらも大切にしたいという保護者の皆さんや生徒の気持ちは重々わかりますが、ご理解いただけたらと思います。
- 自転車登校の生徒たちの雨の日のカッパを掛ける(干す場所)があるといいと思います。
- ◆自転車置き場にカッパを干せるようなコーナーの設置を検討します。心配されるのは風が強く、飛ばされる可能性が高いこと、他の生徒との取り違えが起こる可能性も出てくるということです。持ち物への記名は常にお願ひしているところですが、お子さんが困ることのないようにご家庭でのご協力をお願いします。
- 数学の基礎をきちんと教えてくださるとうれしいです。授業がわからないときがあります。困っているという声を他にも聞きます。
- コンクールに向けての練習や課題、答え合わせのやり方について検討してほしいです。
- ◆学習面で不安を抱えている生徒を含め、学力を伸ばしたいと思っている生徒が大多数です。コンクールに向けての練習やふだんの授業の中で、わからないことがあれば質問できるように教師から常に投げかけています。コンクールに向けての前向きな生徒の気持ちを支援できるよう、取り組み方や練習・確認の仕方など、よりよい形に改善していきます。
- ◆テスト週間中には、下校前に質問タイムを設定し個別対応ができる時間としています。わからないことをそのままにすることなく、一つ一つその場で解決していけるようにしていくことがねらいです。今後も、わかりにくいと感じている部分はどこなのかを把握し、個々への対応を含めた、わかる授業を旨として精進していきます。

学校経営方針の一つに「一人一人が輝き、活気あふれる学校、温かさとぬくもりのある居心地のよい集団づくりに努める」があります。子どもたち一人一人に寄り添った教育活動となるように教職員一人一人が日々精進しています。今後も子どもたちや保護者の皆様の安心につながる教育活動を展開していきます。また、細谷・小沢小と五並中との連携を強化し、小・中の義務教育の中で、子どもたちがよりスムーズに、より安心して成長していけるよう、教育環境を整えていきたいと思ひます。